

1/13

百里基地正門付近で抗議集会



百里連協「日印戦闘機合同訓練」中止を申入れ!

茨城県小美玉市にある航空自衛隊百里基地において「日印戦闘機合同訓練」が1月16日(月)から26日(木)まで実施されました。昨年はオーストラリア・ドイツ空軍とも初めて合同訓練を実施。地元自治体や住民の中止要請を無視し、夜間訓練を強行するなど実践的な訓練が強化されています。憲法違反の「安保3文書」改訂によって、米軍だけでなく、インドやオーストラリアなどとの訓練回数も増え続けています。

県平和委員会など8団体で構成する「百里基地反対連絡協議会」(略称「百里連協」)の呼びかけで、1月13日(金)11時30分から、「日印戦闘機合同訓練」中止の申入れと、抗議集会をおこないました。約70人が参加。集会中も戦闘機の離発着による轟音が鳴



り響き、騒音のひどさを実感しました。

抗議集会は、前日の12日、日米両政府が2プラス2を開催して「日米共同で敵基地攻撃を実行することを盛り込む」など、日本政府が「戦争準備」を加速させていることに対して、危機感と怒りのこもっ

◀「抗議文書」を読んで提出

たスピーチが続きました。

つくば市平和委員会の山中康男さんは「戦争の準備をさせないための世論づくりの先頭に立って、考えて、戦争は勿論その準備に対しても反対の声をしっかり上げていこう」と、抗議の訴えをしました。

一昨年7月におこなわれたオスプレイ訓練反対の抗議集会に「妨害者」2人が乱入しましたが、今回もハンドマイクを持った2人が闖入し参加者を罵倒する言動など、抗議集会のかく乱をくり返しました。しかし集会参加者は手をつなぎ合って妨害者を排除し、冷静に対応しました。そして憲法9条・平和・暮らしを守る決意を新たにしました。

雨が上がった水戸駅南口で反戦を訴える!

1月24日(火)正午、びしょびしょに濡れた水戸駅南口デッキは、すっかり雨が上がっていました。ロシアによるウクライナ侵略から11カ月となるこの日、32回目のスタンディングをおこないました。

前々日の22日は、核兵器禁止条約が発効されてから2年目を迎え、前日の23日は通常国会が開会しました。昨年の12月、岸田政権は日本の安全保障政策を大転換する「安保関連3文書」の改訂を閣議決定しており、「戦争国家づくり」撤回運動がスタートしました。

岸田文雄首相は23日、施政方針演説をおこない、日本は「歴史の分岐点に立っている」とし、「防衛力の抜本的強

ロシアによるウクライナ侵略への抗議
32回目のスタンディング!

化」を挙げました。82年前、「敵基地攻撃能力」という先制攻撃によって真珠湾を攻撃した結果、米国から激しい反撃を受け、日本は焦土と化しました。憲法違反の戦争準備と増税をきっぱり拒否し、岸田政権を退陣に追い込もうと訴えました。

